

# システム変更等のお知らせ

(2000.7.8 - 2000.9.8 変更)

システム運用掛

1 ハードウェア ... なし

2 ソフトウェア ... 変更

2.1 V O S 3 / F S ; m-vos ... なし

2.2 H I - O S F / 1 - M J ; m-unix ... なし

2.3 H I - U X / M P P ; sr8000-s, sr8000-p ... 変更

H I - U X / M P P	0 3 - 0 1 - A D	(2000.7.31)
-------------------	-----------------	-------------

H I - U X / M P P	0 3 - 0 1 - B	(2000.8.31)
-------------------	---------------	-------------

最適化 F O R T R A N 7 7	0 1 - 0 1 - A	(2000.7.31)
-----------------------	---------------	-------------

最適化 F O R T R A N 9 0	0 1 - 0 1 - A	(2000.7.31)
-----------------------	---------------	-------------

- ソース差分部分コンパイル機能 (-diffcomp) 及びオブジェクト再コンパイル機能 (-recomp) をサポートしました。

ソース差分部分コンパイル機能

ソース差分部分コンパイル機能はオブジェクトファイル中にソースプログラム情報を保持し、再度そのオブジェクトを出力先としてコンパイルしたときには、ソースプログラムの変更があったプログラム単位のみコンパイルする機能です。これによりコンパイル時間を短縮することができます。

```
% f77 -diffcomp program.f          差分コンパイルオプションを指定する
f77: compile start : program.f      通常と同様にコンパイルを開始

*OFORT77 V01-01-A entered.
*program name = MAIN
*program name = SUB
*end of compilation : MAIN          プログラム MAIN コンパイル終了
*end of compilation : SUB          プログラム SUB コンパイル終了
*program units = 0002, no diagnostics
generated.
% ls                                  オブジェクトファイル program.o および実
a.out      program.f      program.o  ファイル a.out が作成される

% f77 -diffcomp program.f          プログラム SUB の内容を変更後、改めて差分
f77: compile start : program.f      コンパイルする
```

```

*OFORT77 V01-01-A entered.
*program name = MAIN
*program name = SUB
*end of compilation : SUB
*program units = 0002, no diagnostics
generated.
%

```

プログラム MAIN に変更がないので構文チェックのみ行う  
プログラム SUB は変更があったのでコンパイルを行う  
メッセージ「\*end of compilation : MAIN」がないことに注意

#### オブジェクト再コンパイル機能

オブジェクト再コンパイル機能はオブジェクトファイル中に保持しているソースプログラム情報を使用し、オブジェクトを入力として再コンパイルする機能です。

```

% f77 -diffcomp program.f
f77: compile start : program.f

```

差分コンパイルオプションを指定する  
通常と同様にコンパイルを開始

```

*OFORT77 V01-01-A entered.
*program name = MAIN
*program name = SUB
*end of compilation : MAIN
*end of compilation : SUB
*program units = 0002, no diagnostics
generated.
% rm program.f
% ls
a.out      program.o

```

プログラム MAIN コンパイル終了  
プログラム SUB コンパイル終了

オブジェクトファイル program.o および実ファイル a.out が作成される  
試しにソースプログラム program.f を消してみる

```

% f77 -recomp -parallel program.f
f77: compile start : program.f

```

再コンパイルオプションを指定してコンパイル (参考のため-parallel オプションも追加)

```

*OFORT77 V01-01-A entered.
*program name = MAIN
*program name = SUB
*end of compilation : MAIN
*end of compilation : SUB
*program units = 0002, no diagnostics
generated.
%

```

オブジェクトモジュール内のソースプログラム情報を利用して再コンパイルを行う

プログラム MAIN コンパイル終了  
プログラム SUB コンパイル終了

- インライン展開の展開対象サブルーチン名を指定するオプション -uinlinename、-uoutlinename をサポートしました。
- 入出力の装置番号を 0~99 から、0~2147483647 まで許すように変更しました。
- 組込み関数 ( iand 等 ) で整数型の引数となっているものに対して integer\*8 属性の引数の指定を許すように変更しました。
- !OPTION、!UINLINE、!UOUTLINE を注釈と指示文のどちらで扱うかを指定する オプション !angl|v| (exclamation (comment|option)) をサポートしました。( f90 のみ )
- リモート DMA 転送に複数受信フィールド作成及び複数送信権取得機能をサポートしました。

アプリケーションプログラム開発環境	0 1 - 0 0 - B	(2000.7.31)
-------------------	---------------	-------------

Parallel FORTRAN	0 1 - 0 1	(2000.8.31)
------------------	-----------	-------------

MATRIX / MPP
--------------

03 - 01 - / A (2000.7.31)
---------------------------

最適化C
------

01 - 01 - / B (2000.8.31)
---------------------------

## 2.4 HI - UX / MPP ; scalar-mpp ... 変更

OSCNQS
--------

02 - 04 - / C (2000.8.4)
--------------------------

## 3 その他

### 3.1 ゼロックス 4036 プリントプロッターのサービス終了

ゼロックス 4036 プリントプロッター（モノクロ）はセンターニュース Vol.31, No.2(1999)でお知らせしています通り、1999年3月末の保守契約期限後はメーカー保守対応のない状態でサービスを継続しておりましたが、老朽化と利用者僅少のため、2001年2月末をもってサービスを終了させて頂くこととなりましたので御承知置き下さい。ただし、保守困難な故障が生じた場合にはその時点でサービスを終了致しますので御了承下さい。

### 3.2 SII EP-4020 カラーラスタプロッターのサービス終了

1997年2月よりサービスを行っております SII EP-4020 カラーラスタプロッターは出力時の度重なる故障により、正常な運用が大変困難となっており、利用者も僅少なため、2001年2月末をもってサービスを終了させて頂くこととなりましたので御承知置き下さい。ただし、保守困難な故障が生じた場合又は消耗品の在庫がなくなった場合にはその時点でサービスを終了致しますので御了承下さい。

### 3.3 データベース XDCUTL、PDB、NUCDB、PSDB のサービス終了

利用者提供データベース XDCUTL、PDB、NUCDB、PSDB は2001年2月末をもってサービスを終了します。詳細は本誌別記事「利用者提供データベース XDCUTL、PDB、NUCDB、PSDB のサービス終了について」を御覧下さい。